

# マルチプラットフォームからの印刷出力を統合可能にする “ e-PrintJunction ”

*e-PrintJunction Integrates Print Output from Multi-Platform*

e-PrintJunction<sup>(注)</sup>は、ソリューションサーバ Entrance<sup>(注)</sup>、IBM eServer i5<sup>(注)</sup>や大型コンピュータの帳票印刷出力を、安価なパソコンのプリンタで行えるようにするシステムである。既存のアプリケーションプログラムから出力された帳票を取り込み、元のイメージ通りにパソコンのプリンタに印刷することができる。Windows<sup>(注)</sup>で作成された帳票を扱うことも可能である。e-PrintJunctionで扱える帳票は、以下の4種類である。

## (1)ソリューションサーバ Entrance

定期的にシンビオントを監視し帳票出力が完了したらダウンロードする。外字を扱うためにあらかじめ漢字フォントを転送しておく。オーバーレイファイルを扱うこともできる。

## (2)IBM eServer i5

e-PrintJunctionがサーバとなりi5から送られてくる帳票を受信する。外字を扱うためにあらかじめ漢字フォントを転送しておく。

## (3)Windows

スプールを一定間隔で監視しアプリケーションプログラムから帳票が出力されたら、それを取り込む。

## (4)大型コンピュータ

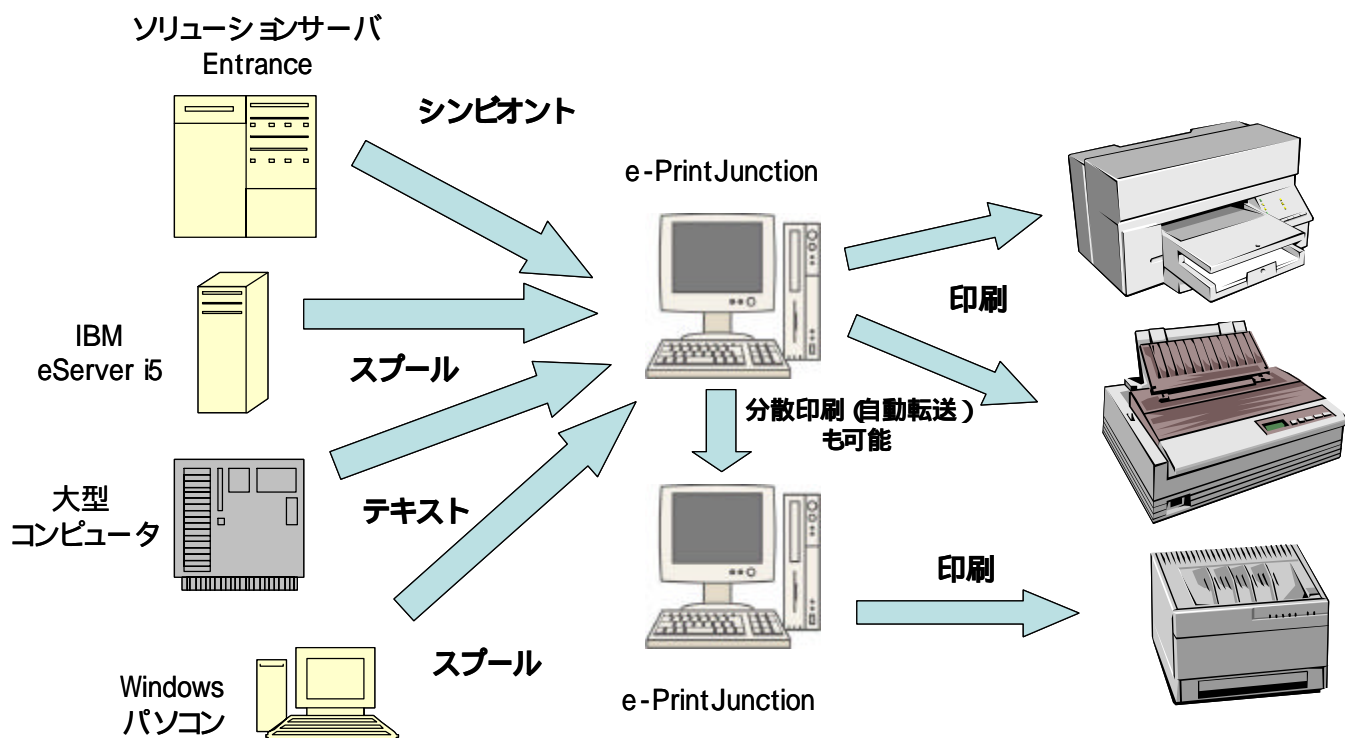
大型コンピュータから転送されたテキストファイルを帳票に変換し取り込む。帳票を取り込んだら、あらかじめ定義された帳票名称・識別情報・オーバーレイ情報・出力環境などを基に、識別・分類を行い、帳票データを圧縮してディスク上に保管し、指定されたパソコンのプリンタに即時またはオペレータ介入後に印刷する。ディスク上に一時保管してあるため、ページを指定しての再印刷も可能である。また印刷イメージや印刷状況の確認機能も搭載している。

複数のe-PrintJunctionを導入することで、それぞれのシステム間で帳票を自動転送することが可能となり、複数プリンタによる分散印刷も容易である。

e-PrintJunctionには、以下の特長がある。

- (1)プリンタのコストを抑える。
- (2)再印刷を可能とする。
- (3)分散印刷を可能とする。

印刷以外の出力機能としては、PDF出力、FAX出力、画像変換、他プログラムとの連携がある。これらの機能を使用して他システムとの連携による拡張性も配慮している。



e-PrintJunction 概要図

< 取り扱い : (株) 三菱電機ビジネスシステム TEL : 03-5309-0620 >

(注)e-PrintJunction は、(株)三菱電機ビジネスシステムが商標出願中です。

(注)Entrance は、三菱電機(株)の登録商標です

(注)IBM、eServer は、IBM Corp.の商標です。

(注)Windows は、米国 Microsoft Corp.及びその他の国における登録商標です。